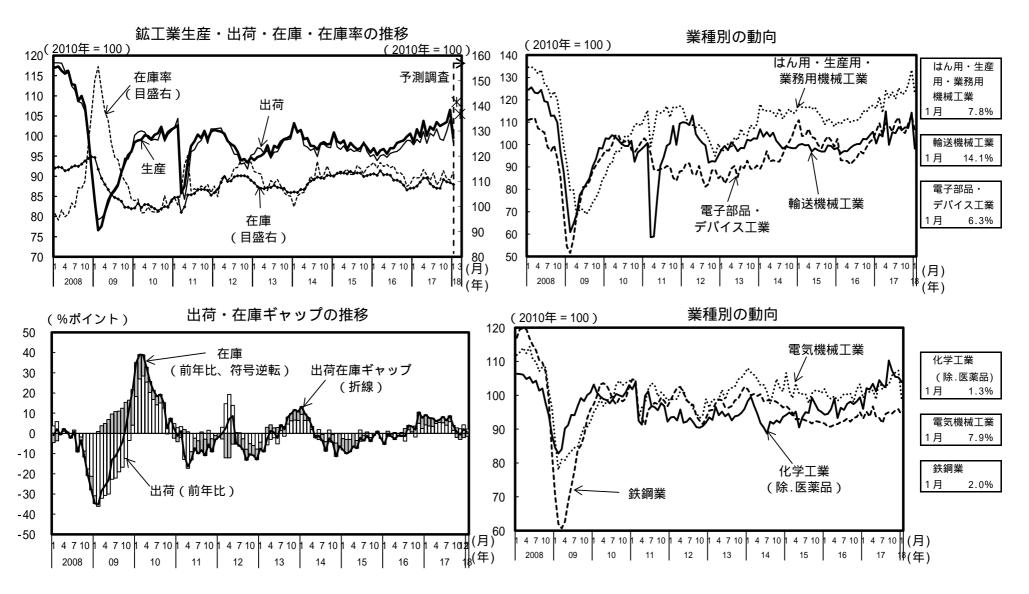
7.生産・出荷・在庫 生産は、緩やかに増加している。

(%)

	[2016年] 2016年度	[2017年] 2017年度	2017年 4 - 6月期	7 - 9月期	10 - 12月期	2017年 11月	12月	2018年 1月
鉱工業生産指数	[0.1]	[4.5]	(2.1)	(0.4)	(1.8)	(0.5)	(2.9)	P(6.6)
	1.1		5.8	4.2	4.6	3.6	4.4	P 2.7
鉱工業出荷指数	[0.6]	[3.8]	(1.5)	(0.4)	(1.0)	(2.3)	(2.9)	p(5.6)
	0.8		5.2	3.7	3.0	2.3	4.2	р 2.1
鉱工業在庫指数	[5.3]	[2.1]	(0.5)	(1.6)	(2.1)	(0.8)	(0.3)	P(0.6)
	4.0		2.9	2.4	2.1	3.0	2.1	P 1.4
製造工業生産能力指数	[94.5]	[94.6]						
(2010年 = 100)	94.1		94.2	94.3	94.6	94.6	94.6	
製造工業稼働率指数	[97.7]	[101.5]						
(2010年 = 100)	98.6		101.9	101.8	103.0	102.0	104.9	
第3次産業	[0.7]	P [0.8]	(1.1)	(0.2)	P (0.7)	(1.1)	p (0.0)	P(0.6)
活動指数	0.4		1.2	0.7	P 1.1	1.5	P 1.3	P 1.6

予測調査 2月 9.0% 3月 2.7%

- (備考)1.経済産業省「鉱工業指数」「第3次産業活動指数」により作成。Pは速報値。
 - 2.鉱工業生産・出荷・在庫指数、第3次産業活動指数の暦年・年度の下段は前年度比、上段の[]内は前年比。四半期・月次の下段は前年同期(月)比、上段の()内は季節調整済前期(月)比。
 - 3.製造工業生産能力指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は原数値。
 - 4.製造工業稼働率指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は季節調整値。



(備考)経済産業省「鉱工業指数」により作成。最新月の数値は速報値。出荷・在庫ギャップ=出荷(前年比)-在庫(前年比)